

2020年5月26日

第66回（令和2年度）江戸川乱歩賞のお知らせ

日本の推理作家への最高の登竜門・江戸川乱歩賞（日本推理作家協会主催）は、書き下ろし長編ミステリー小説（350～550枚）を公募し、昭和32年度の仁木悦子『猫は知っていた』以来、昨年度の神護かずみ『ノワールをまとう女』に至るまで、大型新人と傑作を輩出してきました。

また平成4年度からフジテレビジョンの後援を得まして、賞金1000万円を贈呈し、受賞作品を同局にて随時映像化しております。本年度の応募作は387編の多きに達しています。すでに予選は終了、最終候補作4編を選考委員が精読中で、下記の通り選考会を開き、受賞作を決定いたします。本年は新型コロナウイルス感染拡大予防の観点から、江戸川乱歩賞史上初めてリモートでの選考会開催を予定しております。候補作品名をあらかじめお知らせいたします。

- 主催 日本推理作家協会（代表理事・京極夏彦）
- 後援 講談社・フジテレビジョン
- 選考委員 綾辻行人、新井素子、京極夏彦（推理作家協会代表理事）、月村了衛、貫井徳郎（五十音順・敬称略）
- 正賞 江戸川乱歩像
賞金1000万円
- 選考委員会 6月8日（月）
- 受賞記者会見 6月9日（火）

●候補作品

- | | |
|---------------|------------------|
| 「ブルー オン ブラック」 | 井上 雷雨（いのうえ・らいう） |
| 「エスカレーションラダー」 | 小塚原 旬（こづかはら・しゅん） |
| 「わたしが消える」 | 佐野 広実（さの・ひろみ） |
| 「インディゴ・ラッシュ」 | 桃ノ雑派（もものざっぱ） |